

## 実績評価の進め方

- ・ 下表の23の実現方策について、項目ごとに取組状況や事業の進捗状況を確認。
- ・ 実現方策の取組状況や事業の進捗状況については、別紙様式（資料4）を用いて5年間の成果についてとりまとめを行い、評価指標の推移をもとに3段階評価（◎、○、△）で評価を行う。

### ■長期ビジョンの実現方策一覧

23の実現方策	
<b>(1)より安全・安心で良質な水の供給（4方策）</b>	
ア	水源の水質保全
イ	原水の水質及び水質基準強化に対応した浄水処理の実施
ウ	残留塩素濃度の最適化
エ	水源から給水栓までの統合的な水質管理
<b>(2)事故・災害に強い水道（6方策）</b>	
ア	水源の早期安定化
イ	水道施設の耐震化
ウ	電力危機への対策の充実
エ	事故時を考慮した浄水予備力及び広域的な水運用機能の充実
オ	受水団体と連携した緊急時の体制強化
カ	職員の危機管理能力の向上
<b>(3)運営基盤の強化（4方策）</b>	
ア	将来の水需要を見据えた施設の更新及び施設能力の最適化
イ	財務運営の効率化
ウ	民間活力の導入も含めた組織体制の再構築
エ	水道広域化の推進
<b>(4)事業を通じた社会貢献（4方策）</b>	
ア	地下水から県水への転換促進
イ	電力使用量の削減及び再生可能エネルギーの導入
ウ	浄水発生土の有効利用
エ	国際技術協力の充実及び水道の国際展開
<b>(5)利用者サービスの向上（5方策）</b>	
ア	水道水の安全、水質に関する情報の適切かつ迅速な提供
イ	水道利用者及び受水団体が理解しやすい広聴広報活動の充実
ウ	水道利用者及び受水団体のニーズに応じた良質な水の供給
エ	段階的な変動供給への移行
オ	水道利用者及び受水団体ニーズの把握